

派遣講師選手一覧



川上 秀太
アスピカ 所属
出身地:福井県
(福井県 在住)

<講演テーマ>

「見えないからこそその気づきが強くした」

「障害の壁を越えた挑戦」

「障害は個性でしかない」

<プロフィール>

小学3年の時に交通事故にあり、視覚障がい者となった。中・高校生までは健常者の大会に出場し、2023年にパラの世界へ。パリパラリンピックでは、視覚障がいの100mでは36年ぶりとなる銅メダルを獲得し、2025年にはニューデリー世界パラ陸上で自身初となる金メダルを獲得した。



石山 大輝
トヨタ自動車 所属
出身地:愛媛県
(千葉県 在住)

<講演テーマ>

「1つの投稿から日本代表へ」

<プロフィール>

小学校時代から水泳、バスケットボールに取り組み、中学から陸上競技部に所属。高校では、3年時に三段跳びで三重インターハイに出場したが、同時に「網膜色素変性症」と診断された。「J-STARプロジェクト」に応募をして、パラ陸上の世界へ。2024年のパリパラリンピックに出場し、日本選手団の旗手も務めた。



新保 大和
アシックス 所属
出身地:兵庫県
(東京都 在住)

<講演テーマ>

「結果を引き寄せる志向力-成功をデザインする思考法」

「最高のパフォーマンスを引き出すコーチングとは？」

「成果を出し続ける力-持続可能な挑戦のために」

<プロフィール>

出生時に先天性脳梗塞が発覚。幼少時はリハビリに通いながら、空手や水泳を習い事として通った。中学から陸上部に所属し、円盤投げと砲丸投げに取り組み、兵庫県新人大会で8位入賞。2019年の世界ジュニアでは砲丸投げと円盤投げで優勝し、2025年のニューデリー世界パラ陸上では、円盤投げで銀メダルを獲得し、自身としてはシニア大会での初メダル獲得となった。

派遣講師選手一覧



松本 武尊
AC KITA 所属
出身地: 東京都
(千葉県 在住)

<講演テーマ>

「作業療法士になりました」
「人生がリハビリテーション」

<プロフィール>

3歳の頃から水泳・野球・サッカー・スケートに打ち込み、中学から陸上を始めた。2018年に突然「脳動静脈奇形」という病に襲われ、脳性麻痺となった。世界パラ陸上競技選手権大会ではユニバーサルリレーに出場し、金メダルを獲得。2024年のパリパラリンピックでは、400mで4位に入賞した。



伊藤 竜也
新日本工業 所属
出身地: 福井県
(福井県 在住)

<講演テーマ>

「Re:Start」

<プロフィール>

17歳の時にバイク事故で頸椎を損傷し車椅子生活に。それまでは夏は野球や柔道、冬はスキーなど色々なスポーツをしていた。30歳の時に障害者スポーツ大会の観察に行き、そこでレーサーと出会い、競技開始からわずか2年足らずで100mの当時のアジア記録を更新。パリパラリンピックでは100mで8位に入賞した。



山崎 晃裕
順天堂大学 所属
出身地: 埼玉県
(千葉県 在住)

<講演テーマ>

「ハンデがあるから面白い」

<プロフィール>

右手首から先がない状態で生まれるが、幼少期から高校生まで健常者と共に野球に打ち込んだ。大学1年時に障害者スポーツと出会い、2014年には、障害者野球の日本代表に選出された。パラリンピックを見据え、陸上競技に転向し、東京2020・パリ2024パラリンピック日本代表として2大会連続入賞した。

派遣講師選手一覧



高桑 早生
NTT東日本 所属
出身地:埼玉県
(東京都 在住)

<講演テーマ>

「夢をちからに」
「パラリンピックの挑戦を通じて学ぶ目標達成の過程」
「パラリンピックへの挑戦の先に見える未来～
　　ハラスメントの可能性～」

<プロフィール>

13歳の時に骨肉腫を患い、左下腿を切断。高校から陸上をはじめ、2012年、初出場となるパラリンピックロンドン大会で100m・200mで決勝進出を果たした。その後モリオ2016、東京2020、そしてパリ2024と4大会連続でパラリンピックに出場した。



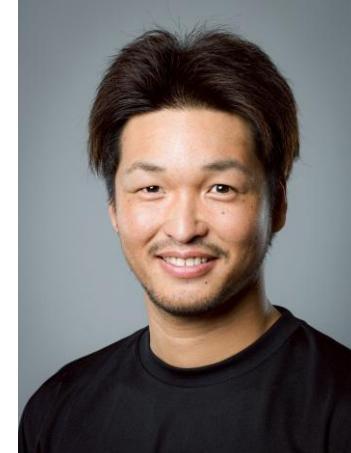
若生 裕太
三菱オートリース 所属
出身地:東京都
(東京都 在住)

<講演テーマ>

「人生すべてポジティブ要素」

<プロフィール>

小学1年生から野球を始め、高校は甲子園出場経験のある日大鶴ヶ丘高校へ。20歳の頃にレーベル病を発症し、パラ陸上の世界へ。競技開始からわずか1年後の2019年に日本記録を樹立。2024年には、パリパラリンピックに出場し、やり投げで7位に入賞した。



渡辺 勝
TOPPAN所属
出身地:福岡県
(福岡県 在住)

<講演テーマ>

「目標達成への道筋」
「車いすマラソンって知っとお？」

<プロフィール>

幼少期からスポーツ大好きで、中学校から野球を始め、福岡県代表選抜チームに投手として選出。全国大会初先発のマウンドで、完全試合リレーを達成。全国ベスト8になった。高校卒業後には、体力を活かし鉄工業に就職。自らの運転する車で事故を起こし、脊髄損傷による車いす生活に。2013年にリヨン世界パラの日本代表に選出され、現在は、メジャーマラソンに参戦中。2017年東京マラソンで優勝した。